

光 Guang

2018年 デジタル カラー 88分 マレーシア 日本語・英語字幕付き

監督:クイック・シオチュアン

プロデューサー:サブリーナ・ウォン

脚本:クイック・シオチュアン

撮影:エリック・ヨン

編集:クイック・シオチュアン

音楽:アナス・クマール

美術:アントニー・チャン

出演:キョー・チェン

アーネスト・チョン

エミリー・チャン

エイドリアン・ライ

自閉症の青年ウェン・クアンは、母の死後弟と二人で暮らしてきた。なかなか仕事がないクアンのため、弟は色々な仕事を探してくるが、どれも長続きしない。ある日クアンはピアノがほしいと言い出す。ピアノが高価であることを知ると、今度はガラスのコップや食器を集めだすのだった。偶然クアンと知り合った幼稚園の先生をしているスー・エンは、クアンが絶対音感を持っていることを知る。ガラスを指ではじき必要な音がでるガラスを段ボール一杯集めたクアンだが、どうしても特定の音のガラスを見つけることができない。ある日警察が来て、クアンが食器を盗んだことを弟に告げる。怒った弟はガラスを投げ捨ててしまい、それを見たクアンは家出をしてしまう。

本作は2011年に監督が同名の短編として製作したものをもとにしている。主人公のクアンは監督の兄がモデルである。そして映画でクアンの面倒を見る弟が監督である。短編は世界各国の映画祭で上映され好評を博した。そしてさらに長編映画として完成させたものが本作である。監督は本作について「皆さんの自閉症の人たちへの認識が何か変わり、彼らが決して単に精神を患っているわけではないということに気付いてほしい」と語っている。クアンはガラスを集めて何をしようとしているのか。驚きと感動のラストと共に兄弟のあたたかな愛情が伝わって来る。2018年アジアフォーカス・福岡国際映画祭で観客賞に次ぐ熊本市賞を受賞。